日産自動車、「ノート」と「ノート オーラ」が揃って2021年度グッドデザイン賞を受賞

日産自動車株式会社　　2021年10月21日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、20日、昨年12月にフルモデルチェンジした新型「ノート」と、本年8月に新規投入した新型車 「ノート オーラ」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」（10月20日発表）を受賞した、と発表しました。

ノート

こちらに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。販売が既に終了している製品や、組織の変更等、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

「乗ればわかる、電気の楽しさを」をテーマに、全く新しい先進コンパクトカーとしてフルモデルチェンジした新型「ノート」は、第2世代「e-POWER」と新開発プラットフォームの採用によるスムースで力強い「加速」や、なめらかな「減速制御」、優れた「静粛性」などが多くのお客さまから高く評価いただいています。加えて、デザインは、新世代に移行する日産デザインのキーワード、「タイムレス ジャパニーズ フューチャリズム」を具現化し、コンパクトカーの常識にとらわれることなく、電動化の時代を訴求する先進的なエクステリア、インテ

リアとなっています。

今回の「ノート」の受賞は、「ブランドを牽引する新たなアイコンを創出しようとする熱意を感じるデザインである。クリーンでリズム感のある面構成は、先鋭的でダイナミックな印象を生みだし、様々な角度から見たいと思わせる趣と、コンパクトカーのクラスを越えた存在感を併せ持っている。インテリアでは、飛梁型のセンターコンソールに先進的なシフトレバーがレイアウトされ、大型のディスプレイと相まって、室内全体に新世代を感じせる雰囲気を創出することに成功している。カラーデザインでも、個性的な色調に挑戦している」と、高く評価されました。

ノート オーラ

新型車「ノート オーラ」は、「上質をまとったコンパクト」をテーマに投入したモデルです。上質な車をたくさん乗り継いでこられたこだわりの強いお客さまから高い評価をいただくと共に、大きなサイズのモデルからのお乗り換えも多く、プレミアムコンパクトという新たなカテゴリーを確立いたしました。

特に、細部に至るまで“上質”にこだわったインテリアや、最高出力100kw、最大トルク300Nmのスムースで力強い走りの第2世代「e-POWER」に加えて、クラスを超えた静粛性と国内初採用の「BOSEパーソナルプラスサウンドシステム」の組み合わせは、多くのお客さまから好評を得ています。また、運転支援技術「プロパイロット（ナビリンク付）」や、全車に標準装備している360°セーフティアシストをはじめとする数々の先進技術も、多くの支持をいただいています。

今回の受賞にあたっては、「内外装ともに、非常に高品位なデザインであり、コンパクトカークラスを越えた存在感がある。幅を活かしたリアフェンダーの造形は、グラマラスな印象を醸し出し、写し出されるリフレクションの変化も楽しい。キレのよい面構成は、細く先進的なヘッドランプと相まって、モーターによる心地よい加速感を想像させ、未来を感じさせる造形として美しくまとめている。また、インテリアは、一つひとつの素材選びにもこだわりを感じ、その総体として非常に上質な空間を生み出すことに成功している。カラーデザインも、平易な色調に陥ることなく、それぞれに深みのある色合いを選定している」と、高く評価されました。

以 上

GOOD DESIGN	グッドデザイン賞： 1957年に創設された、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加しています。 受賞のシンボルである「Gマーク」は、良いデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。 https://www.g-mark.org/

「ノート」WEBカタログ：https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/note.html

「ノート オーラ」WEBカタログ：https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/aura.html